

2010年12月21日  
日本原燃株式会社

**六ヶ所ウラン濃縮工場 新型遠心機への更新工事の進捗状況および  
既設遠心機（RE－2B）の生産運転停止について**

**1. 新型遠心機への更新工事の進捗状況**

当社のウラン濃縮事業におきましては、新型遠心機「初期導入」として、既設遠心機1050tSWU／年のうち、75tSWU／年を2回に分けて新型遠心機に更新する工事を進めており、2011年9月（前半分）及び2012年9月（後半分）に運転を開始する予定です。

この新型遠心機の更新工事は、本年3月より開始しており、工事の進捗状況は以下のとおりです。

**（1）既設遠心機（RE－2A）の撤去及び新型遠心機の据付工事について**

本年4月から更新対象の既設遠心機（75tSWU／年）の撤去工事を開始し、同年10月に撤去を完了しました。現在、新型遠心機を据え付けるために基礎工事を進めております。

**（2）新型遠心機の製造について**

本年4月から新型遠心機の製造を開始し、新型遠心機「初期導入」前半分（2011年9月運転開始）相当台数のほぼ半数について製造を終了しております。

**2. 既設遠心機（RE－2B）の生産運転停止**

生産運転していた既設遠心機（RE－2B）については、新型遠心機への更新工事をより安全に実施するため、本年12月15日に停止し、系統内に残留しているウランをシリンダ等の容器に回収する作業を実施しています。

別添：六ヶ所ウラン濃縮工場 新型遠心機への更新工事の進捗状況  
および既設遠心機（RE－2B）の生産運転停止について

以 上

六ヶ所ウラン濃縮工場 新型遠心機への更新工事の進捗状況および既設遠心機（RE-2B）の生産運転停止について

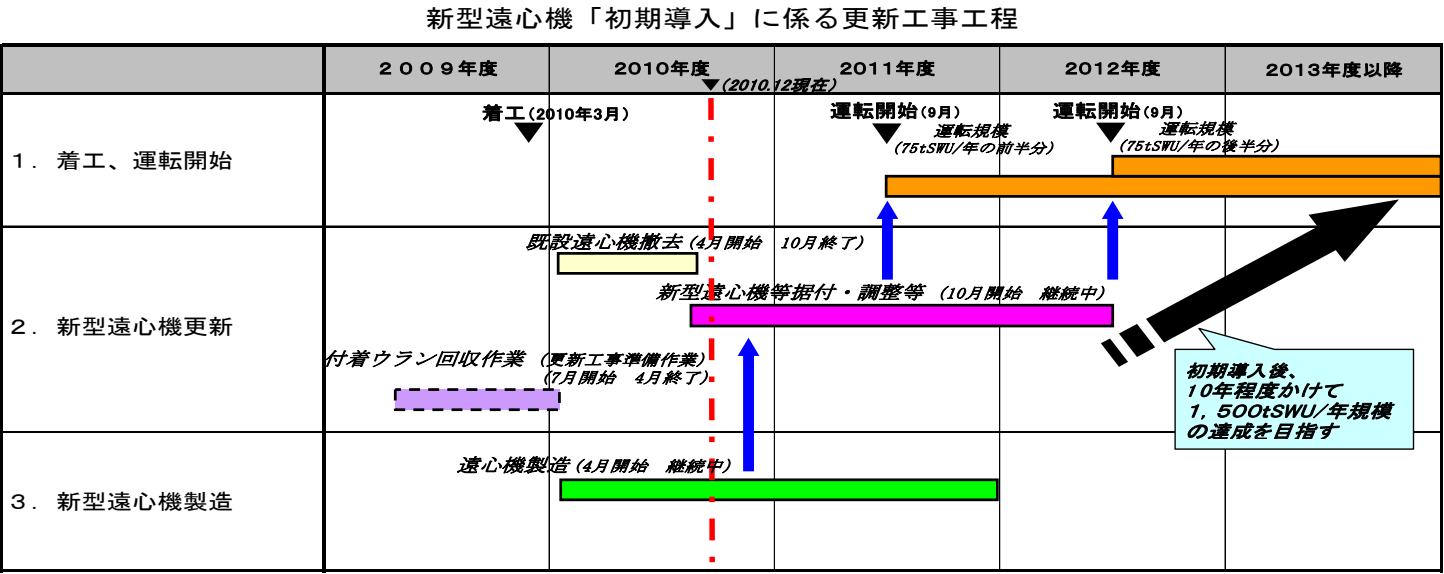
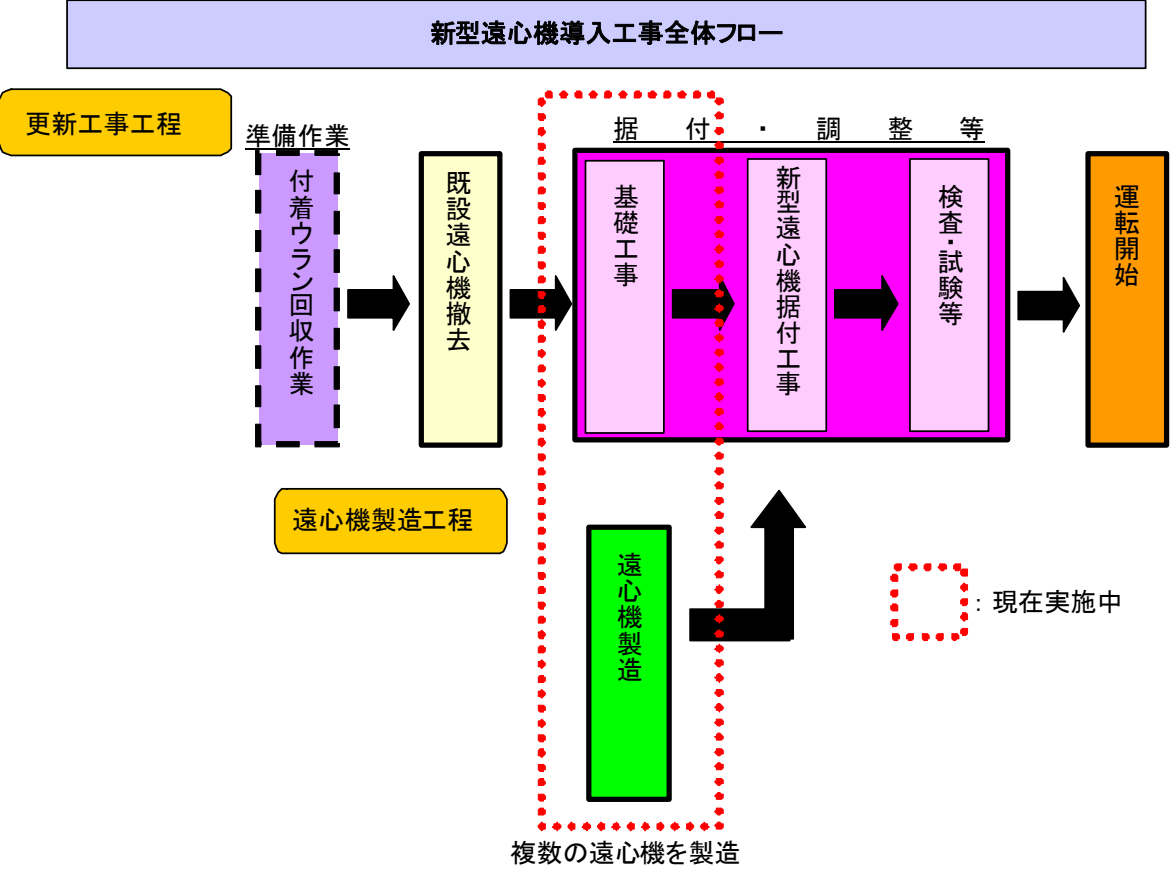
1. はじめに

- 当社は2000年より我が国の技術者を六ヶ所村に結集し新型遠心機の開発を進めてきた。2008年に実用化の目処がついたことから、ウラン濃縮工場に設置されている既設遠心機を新型遠心機に取り替えて、導入することとした。
- 新型遠心機の導入にあたっては、開発段階で確立した製造に関わる品質確保体制の実効性を確認して着実に導入を進めることが重要であることから、初めは小規模で更新することとし、75tSWU／年を半分ずつ2回に分けて、それぞれ2011年9月（前半）、2012年9月（後半）に運転を開始する予定である。

RE-1 カスケード (600tSWU/年)	RE-1A(150tSWU/年)	RE-1B(150tSWU/年)	RE-1C(150tSWU/年)	RE-1D(150tSWU/年)
RE-2 カスケード (450tSWU/年)	RE-2A (75tSWU/年) 更新工事中	RE-2A (75tSWU/年)	RE-2B(150tSWU/年)	RE-2C(150tSWU/年)

2. 新型遠心機「初期導入」更新工事の進捗状況

新型遠心機「初期導入」の更新にあたっては、「新型遠心機導入工事全体フロー」の通り、安全及び品質の確保を最優先に進めており、2011年9月の運転開始に向け、着実に進捗している。



○運転開始：ウランを流通したことをもって運転開始とする。その後、一定期間、慣らし運転した後、濃縮ウランの生産に移行する。

(1) 付着ウラン回収作業状況および既設遠心機（RE-2A）の撤去状況〔終了〕

既設遠心機（RE-2A）の更新工事の準備作業として2009年7月24日より、付着ウラン回収作業を実施し2010年4月19日に終了した。

撤去作業については、2010年4月19日より開始し、同年10月28日に75tSWU／年の既設遠心機の撤去が完了した。

また、撤去した既設遠心機については、切断部分を溶接等により密封した状態で放射性固体廃棄物としてウラン濃縮工場内に安全に保管している。

(2) 新型遠心機の基礎工事状況〔継続中〕

既設遠心機の撤去は完了し、現状は、新型遠心機を据え付けるための基礎ボルトを設置する等の基礎工事を実施している。

今後、基礎工事が完了後、新型遠心機の据え付け作業を実施し、検査・試験等を実施していく。

(3) 新型遠心機の製造状況〔継続中〕

新型遠心機の製造は、2010年4月15日より開始し、1年程度かけて2011年9月運転開始分の新型遠心機の製造を行う計画である。現在まで、2011年9月運転開始相当台数のほぼ半数の遠心機の製造を終えている。

今後、新型遠心機の六ヶ所ウラン濃縮工場への据え付けに向け、着実に製造を進めていく。

3. 既設遠心機（RE-2B）の生産運転停止について

- 新型遠心機への更新工事においては、換気空調設備などの計測制御設備の更新を行う。換気空調設備は管理区域内の負圧を常に維持し、放射性物質が外部へ漏えいしないようにする設備であるため、計測制御設備の更新工事は管理区域内の負圧を維持しながら行うが、初めて行うものであることから、より安全に実施できるよう、予め系統内に残留しているウランをシリンダ等の容器に回収することとする。これら回収期間等を考慮し、生産運転していた既設遠心機（RE-2B）を本年12月15日に停止した。
- 生産運転停止中の既設遠心機（初期導入75tSWU／年除く）は、引き続き保安規定に基づき安全に維持管理している。